

令和8年2月定例記者会見要旨

開催時間 令和8年2月18日（水）

午前10時 予算（案）記者発表終了後 大会議室

（総務部長）

2月の定例記者会見を開会します。

（市長）

ご説明申し上げました当初予算をご審議いただき、諏訪市議会の3月定例会を2月25日水曜日に招集いたします。日程は議会の議会運営委員会で確定をして発表があらうかと思えます。

○令和8年度 当初予算（案）について

○諏訪市議会 本会議（3月定例会）

招集日：2月25日（水） ※日程は議会運営委員会にて決定

○危険鳥獣（クマ等）の対応状況について

全国的にクマによる人身被害が多発しており、諏訪市においても出没情報が増加傾向にあることから、県許可による捕獲、対応マニュアル策定を進めてまいりました。

・市内出没状況について

今年度の市内のクマと思しき出没情報は計7件ほどで、湖南の西山地域や霧ヶ峰から角間新田周辺で目撃されています。目撃情報については農林課で情報を収集し、信ぴょう性が高いものについて、諏訪市のホームページに随時掲載しています。

・ポイントは2点

①「緊急銃猟」の実施判断の権限を市長から農林課長へ委任。

②「緊急銃猟」にあたり、必要に応じて危機管理室や建設課へ応援を要請。

これらにより、迅速かつ組織的な対応を可能とする体制を整えました。

・市の動きについて

諏訪市においても、山間部の集落を中心に出没情報が増加傾向にあることから、県の許可を得て、クマの捕獲を実施してまいりました。

また、クマ等が市街地に出没した場合などの緊急対応をまとめた「クマ等出没対応マニュアル」を策定しました。本マニュアルでは、庁内の対応手順や役割分担を明確化しています。今後は県や警察署、地元猟友会との連携を一層強化し、本マニュアルに基づき迅速かつ適切に対応してまいります。

※マニュアルには、個人情報が含まれているのでお渡しはできませんが、農林課において詳細説明と閲覧ができます。

・市民への周知および注意喚起について

クマの出没情報は農林課で集約し、諏訪市のホームページにて随時公開しています。また、警察や地元猟友会と連携し、必要に応じて目撃場所周辺の自治会や教育関係部署へ速やかに情報を共有するなど、地域への注意喚起と安全確保に努めています。これから春の活動期に入り、出没リスクが高まります。市民の皆さまにおかれましても日頃からクマを寄せ付けない対策を講じていただき、目撃した場合や足跡等の痕跡を確認した際は、農林課へご連絡くださいますようお願いいたします。

○令和8年度予算記者発表のY o u T u b e ライブ配信について

(記者)

予算発表をY o u T u b のライブ配信で行ないましたが、その感想と今後のメディアの活用についてどのようなお考えでいるのか。

(市長)

時代のツール、技術の進化の中で、皆さんが情報をどのように取得するか、そうしたことが大きく変化をしてきております。オールドメディアなどと表現されるようにマスメディアとして機能されてきた皆さんの役割や情報の質というものも変化を求められているのではないのでしょうか。そうした中で、行政としても発信する情報を皆さんのリクエストにお答えできるような形に進化をさせるという意味で、その形を変えなければなりません。世の中で課題になっておりますように、SNSやAI技術により手元に届けられる情報が、必ずしも公平公正ということではなく、大いに自分の趣味に偏ったもので、アクセス回数やヒット数によって、自動的に手元に届く。そのような情報の与えられ方が、今回の選挙にも大きく影響したのではないかとまで言われています。行政としてどのような情報をどのような形で提供するかは、引き続き大きな課題であると思います。記者クラブの皆様と課題を共有している部分でもあると思っています。完成形はまだ見えておりませんし、プラス、マイナスの両面がありますが、一步一步前進をして時代に即していくということが必要だと思っています。

(総務部長)

以上をもちまして、令和8年度 新年度予算の記者発表及び2月の定例記者会見を終了します。どうもありがとうございました。